

弱点や欠点を知っていると人は謙虚になれる

樋野興夫著

病気は人生の夏休みより

完璧な人間なんていやしません。誰もが何かしらの弱点や欠点を持っています。

「欠点いかに大であるともそれから徳が起こる」(新渡戸稲造)

欠点や弱点があるからといって自分をさげすんだり卑屈になったりせず、そこから学ぼうとする姿勢が大切です。

悪いところがわかれば、自分を変えることができます。

一般に「ある年齢を越えると人は変わらない、変えられない」と言われていますが、病気になったことがきっかけで、劇的に変わった人を見てきました。

欠点が見つかってからも日々勉強、日々進歩。完璧な自分であることを願うよりも、自分の弱みを自覚して学び続けることです。

自分の弱点や欠点を知っている人ほど、謙虚で心豊かな人になれる可能性を秘めています。

